

全国厚板シェアリング工業組合

第34期通常総会を東京で開催

総勢110名が参集

全国厚板シェアリング工業組合は、平成21年5月26日（火）、第34期通常総会を東京茅場町の鉄鋼会館で開催した。

総会は定刻の午後3時より、総数57名の参加者を得て801号室で開催された。吉里理事・総務委員長の開会挨拶の後、高木理事長より以下の挨拶が行われた。

（理事長挨拶要旨）

『現下の厳しい環境のもとで、我々シャー業界が取り組むべき課題は大きく分けて3つある。1点目は、増加の続く在庫への対応、2点目は、在庫を抱え、かつ低迷する販売状況下での資金繰り問題、3点目は、これまで改善の進んでいなかった加工マージンの問題だ。1点目の在庫については、去年の需給タイトの状況を受けて、11月ごろにロールの申し込みが大量に行われたことにより、それが2月、3月に納入され大幅な増加につながった。こうしたシャーの申し込みもさることながら、メーカーの供給能力も改善されて納期スケジュールが早まり、今では1か月を要しなくなっている。3月末には全国在庫が55万トンに達している。当組合としては経済産業省や高炉メーカーに働きかけ、需給バランスが正常化する要請を行っている。高炉メーカーに対しては生産、出荷ともに抑制を図るべく要請した。我々としてはこれが着実に実行されるかを注視することが必要だ。2点目の資金問題は、公的制度の活用を積極的に行ってほしい。経済産業省からは中小企業支援について様々なメニューが提案されている。厚生労働省の雇用調整助成金制度も有効に活用すべきで、同制度活用では人材育成、社員教育に有意義に時間を使ってほしい。育成に有効なプログラムなどは各支部間で融通し合ってみてはどうだろうか。

3点目の加工マージンについてはこの数年の好調時にほとんど改善されていなかったことを反省すべきである。マージの見直しに知恵を絞り取り組んでほしい。又コストの低減については需要家との連携において取り組む余地がまだまだある。建設関連はこの宝庫ともいえる。個社間で難しいことも業界対業界なら問題点の洗い直しもできる。この際きちっとお互いの間でルール作りをすることが重要である。』

引き続き、同氏が議長に選任されて議事が進められた。

議事の概要は次のとおりである。

第1号議案（第34期事業報告）、第2号議案（同決算報告）については事務局からの報告の後、監事の瀬瀬協氏、福原廣勝氏より決算内容はすべて適正に処理されている旨の監査報告が行われ、満場一致で承認された。

第3号議案（役員の新補欠選任）については、社内異動を英雄に1名の理事より辞任の申し入れがあった。このためこのままでは定款第25条による定数（理事24名以上27名以下、監事1名または2名）を下回るため、理事の新補欠選任を行った。永吉明彦大阪支部長が選考委員に選任され、同氏より東海支部から推薦されている理事候補者名が読み上げられ、検討の結果、全員異議なく林光雄氏が選任された。

その後、総会の場を臨時理事会の場に切り替え、副理事長の選任、顧問の委嘱を行った。

互選の結果、副理事長には林光雄理事（三和鉄鋼株顧問）が全員の賛成を得て選任された。

最後に、高木理事長より川口克彦・前副理事長に顧問を委嘱したい旨の提案があり、全員の賛成を得て決定した。

再び総会の場に戻り、第4号議案（35期事業計画）、第5号議案（35期予算）については、事務局より報告が行われ、原案通り異議なく了承された。以上をもって議事は全て終了した。

次いで、今回で副理事長を退任された川口克彦氏に対し高木理事長より感謝状と記念品が贈呈され、川口氏より退任の挨拶が行われた。

最後に永吉副理事長より閉会の辞が述べられ、第34期総会は終了となった。

全国厚板シェアリング工業組合役員名簿

(平成21年5月26日)

理事長	高木 建	(東京)	(株)富士鉄鋼センター社長
副理事長	酒匂 雅信	(東京支部長)	京浜産業(株)社長
〃	☆林 光雄	(東海支部長)	三和鉄鋼(株)顧問
〃	永吉 明彦	(大阪支部長)	(株)シーヤリング工場社長
〃	木村 昭夫	(九州支部長)	豊鋼材工業(株)社長
理事	阿部 仁	(北海道支部長)	阿部鋼材(株)社長
〃	岩谷 徹	(東北支部長)	仙台シャーリング(株)社長
〃	大川 宏之	(東京)	芝浦シェアリング(株)会長
〃	高橋 雅雄	(東京)	青柳鋼材興業(株)社長
〃	角田 善彦	(東京)	三ノ橋鋼材(株)社長
〃	秦 弘志	(東京)	丸東興業(株)社長
〃	原 敏博	(東京)	原シェアリング(株)社長
〃	八十川 雅明	(東京)	神鋼鋼板加工(株)社長
〃	吉里 勉	(東京)	J F E 鋼材(株)社長
〃	真柄 修	(新潟支部長)	新潟スチール(株)社長
〃	高田 克己	(東海)	東海鋼材工業(株)取締役
〃	佐野 和彦	(東海)	丸八鋼材(株)社長
〃	山村 薫	(東海)	熱金鋼業(株)社長
〃	中本 茂	(大阪)	(株)玉造社長
理事	藤澤 憲司	(大阪)	J F E 鋼材(株)取締役
〃	山崎 光信	(大阪)	(株)山崎シャーリング社長
〃	木村 秀明	(大阪)	(株)日鉄神鋼シャーリング社長
〃	齊藤 淳泰	(神姫)	齊藤鋼材(株)社長
〃	浅利 重法	(中国支部長)	太陽シャーリング(株)社長
〃	自見 榮祐	(九州)	自見産業(株)会長
〃	時任 保彦	(九州)	熊新(株)社長
監事	瀬瀬 協	(東京)	(株)交告商店社長
〃	福原 廣勝	(東京)	村山鋼材(株)取締役

(☆印は新任)

委員会の委員長・副委員長一覧

委員会名	委員長	副委員長
総務委員会	吉里 勉	
市場委員会	酒匂雅信	
生産性委員会	高田克己	
統計委員会	高橋雅雄	

講演会

講演会は引続き総会会場において、木村昭夫副理事長の司会で16時より開催された。講師は、日本経済研究センター理事長の深尾光洋先生にお願いし、「我が国経済の現状と今後の見通し」と題して、1時間に亘って講演が行われた。聴衆は100名を超え、熱心な意見交換も交え盛況であった。

懇親パーティ

17時よ9階レストランで懇親パーティが開催された。懇親パーティは参加者110名と、10名のコンパニオンが花を添え、立食形式で盛大に開催された。

原 敏博理事（東京支部副支部長）の司会により進行された。冒頭、シャリング業誕生100周年を記念して制作された、教育育用DVD「厚鋼板のできるまでとシャリング業のあらまし」が放映された。

放映終了後、まず最初に、酒匂雅信副理事長より開会挨拶が行われ、次いで高木 建理事長より主催者側の挨拶が行われた。

次に、経済産業省製造産業局 石川正樹鉄鋼課長より来賓のご挨拶を頂いた。

続いて、鉄鋼産業懇談会厚板部会長である相川 貢氏（JFE スチール(株)専務執行役員）より来賓のご挨拶が行われた。

乾杯のご発声は、当組合会員商社代表の福井 一氏（住友商事(株)厚板・建材事業部長）によって行われ、その後会食・懇談に入った。

18時になり、林 光雄副理事長の中締めで懇親パーティは終了となった。

以上